

**福井市学校教育目標**  
 「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」  
**福井市学校教育方針**  
 「学びをつなぐ・未来につなげる」  
 ～「つながる」を大切にした学校づくり～  
**足羽第一中学校区教育**  
 「地域とともに育む子どもたちの未来」  
 ・地元を誇りを持ち、自分の未来を思い描き行動できる子ども  
 ・学び合い、支え合い、きたえ合う子ども

令和4年度酒生小学校スクールプラン

【教育目標】	
心豊かに学び合い、たくましく生きる子の育成	
【校訓】	【めざす児童像】
正しく 強く 美しく	よく学んで、正しく判断し、高め合う子 心身ともに健康で、ねばり強くやりぬく子 美しいもの、真実なものに感動でき、 思いやりのある優しい子

**児童の実態**  
 ◇素直で、一生懸命努力する  
 ◇のびのびして人なつっこい  
 ◇時間や規則を守る  
**保護者や地域・教師の願い**  
 ◇場に合ったあいさつや返事がしっかりできる  
 ◇思いやりがある  
 ◇心も体もたくましい  
 ◇自分の考えをはっきりと最後まで話すことができる  
 ◇基礎的な学力を身につけている  
 ◇仲間と学び合いきたえ合うことができる

〈つながるを大切にした学校づくり〉  
**○重点事項**  
 ・わかる授業とICT活用をつなぐ授業づくり  
**〈研究主題〉**  
 進んで表現し、深く学び合う子の育成

**【めざす学校像】～笑顔がいっぱい酒生小～**  
 ・一人一人が安心して、笑顔で楽しく通える学校  
 ・つながりを大切にして、協働する力を育む学校  
 ・家庭・地域から応援してもらえる学校

**【めざす教師像】～チーム酒生～**  
 ・学び続け、楽しい授業を工夫する教師  
 ・学び合いでつなぎ、協働する力を育む教師  
 ・和を大切にして協働して支え合う教師

**今日的な教育課題**  
 ①主体的・対話的で深い学びの実現  
 ・個別最適な学び  
 ・協働的な学び  
 ②GIGAスクール構想の実現  
 ③働き方改革の推進  
 ④感染症対策の徹底

重点目標	確かな学力の育成 協働的な学びを育む授業づくり	豊かな心の育成 温かい人間関係の構築	健やかな体の育成 健康増進・体力の向上	信頼される学校づくり 家庭・地域との協働体制の構築
	<b>① 基礎的な学力の定着</b> ・「聞く・話す」の学習ルールの確実な定着 ・学び方の習得 ・個に応じた支援の充実 ・コミュニケーションの場の充実 <b>② 協働的な学びをめざす授業づくり</b> ・児童に「当事者意識」を持たせる授業の工夫（主体的な学び） ・協働的な学びの場（学び合い、討論等）がある授業の工夫（対話的で深い学び） ・学びを確かめ、次の学びに生かせる振り返り ・ICT機器の活用や教材・教具の工夫などによる魅力ある授業づくり ・教職員校内研修の充実 <b>③ 学習習慣の形成</b> ・学年に応じた課題と自主学習による家庭学習の習慣化 ・教師による評価や勇気づけ、振り返りによる学習への意欲づけ ・保護者と連携した家庭学習の習慣化	<b>① 温かい人間関係のある学級づくり</b> ・協働的な学びによる所属感と、自己有用感が持てる学級づくり ・教職員による児童理解の充実（終礼・研修） ・児童アンケートを活用したいじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決 ・スクールカウンセラーと連携した子どもの悩みや相談への対応 ・考え、対話する道徳授業による思いやりや感謝の心の育成 <b>② 地域や学校への愛着と誇りを育む</b> ・文化、産業、歴史等の地域に根ざす体験活動による地域学習 ・発達段階に応じたキャリア教育の推進 <b>③ 当たり前のことができる力の育成</b> ・凡事徹底 ・あいさつ・返事・後始末 ・自己コントロールのできる力の育成 ・いじめを見逃さない心の育成	<b>① 健康な生活習慣の定着</b> ・家庭と連携した基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の定着 ・歯、目、姿勢の日常的な健康を意識させる指導 ・食に関する知識と望ましい食習慣を身につける食育の推進 <b>② 運動習慣の定着と体力向上</b> ・校庭での外遊びの奨励 ・体力づくりを目指した体育授業と学校行事の推進 <b>③ 危機管理（危機回避）能力の向上</b> ・登下校指導、交通安全教室、避難訓練等による危機管理（危機回避）能力の育成 ・適正なネット利用や情報モラル育成の指導及び保護者への啓発 ・感染防止対策の徹底	<b>① 学校公開と情報発信</b> ・授業参観、学校行事、学校だより、ホームページによる積極的な学校公開と情報発信 ・保護者との意識疎通や電話・来校者への誠実な対応 <b>② 社会に開かれた教育課程の推進</b> ・地域の素材や人材を活用した教育活動の展開 ・「家庭・地域・学校協議会」での情報交換を生かした学校改善 <b>③ 関係学校・園や外部機関との連携</b> ・中学校区の連携の在り方の見直し ・学びと育ちをつなげる「こども園」との交流、連携充実 ・児相や特教センターの協力を得た気がかりな児童の対応
数値目標	○授業がよくわかる（児童：90%） ○授業などで進んで発表している（児童：85%） ○学び合いの場の確保（教師：90%） ○家庭学習が習慣化している（保護者：80%）	○学校が楽しい（児童：90%） ○いじめを見たらとめたりする（児童：80%） ○あいさつができる習慣（児童：90%） ○児童の良い点を認め習慣化する指導（教師：90%）	○学校は安全面・健康面について適切に指導している（保護者：90%） ○学校は食育や健康な体づくりに力を入れている。（保護者：90%） ○我が子のネット利用の管理（保護者：90%）	○保護者へ適切に学校の情報を伝えている（保護者：90%） ○地域に関する体験活動の取組（教師：90%）

〈業務改善のための取組〉 ・午前5時間制による放課後時間の確保 ・iPadを活用した教材の共有化 ・業務推進日の設定 ・会議方法の精選（ペーパーレス）